

## 平成 31 年度（令和元年度） 学力等調査の結果について

平成 31 年度（令和元年度）に実施された全国学力・学習状況調査（文部科学省）、児童・生徒の学力向上を図るための調査（東京都教育委員会）について、杉並区立小・中学校の結果を報告する。

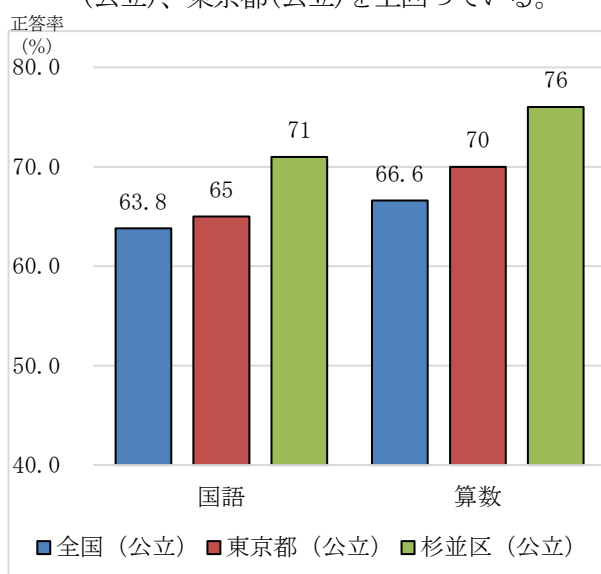
### 1 学力等調査の概要

調査名	全国学力・学習状況調査	児童・生徒の学力向上を図るための調査
目的	児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における教育指導の充実や学習指導の改善等に役立てる。	
対象	公立、国立、私立小学校第 6 学年 公立、国立、私立中学校第 3 学年	都内公立小学校第 5 学年 都内公立中学校第 2 学年
調査内容	①教科に関する調査 ・小学校：国語、算数 ・中学校：国語、数学、英語 ②質問紙調査	①学力向上を図るための調査 ・国語、社会、算数・数学、理科 ・英語(中学校第 2 学年のみ) ②質問紙調査
調査日	平成 31 年 4 月 18 日(火)	令和元年 7 月 4 日(木)

### 2 全国学力・学習状況調査（文部科学省）

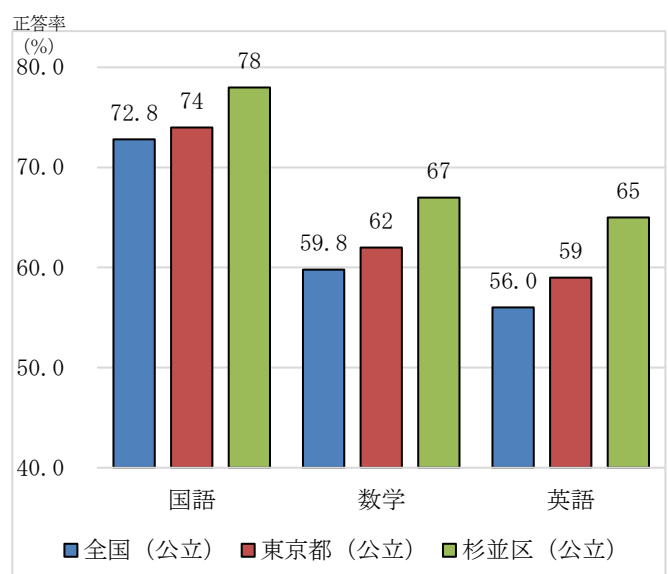
#### ◆調査結果の概要

- ・平均正答率(%)について全国(公立)、東京都(公立)と比較すると、杉並区(公立)は、全教科で全国(公立)、東京都(公立)を上回っている。



小学校第 6 学年

(都、区は小数第一位を四捨五入した値)



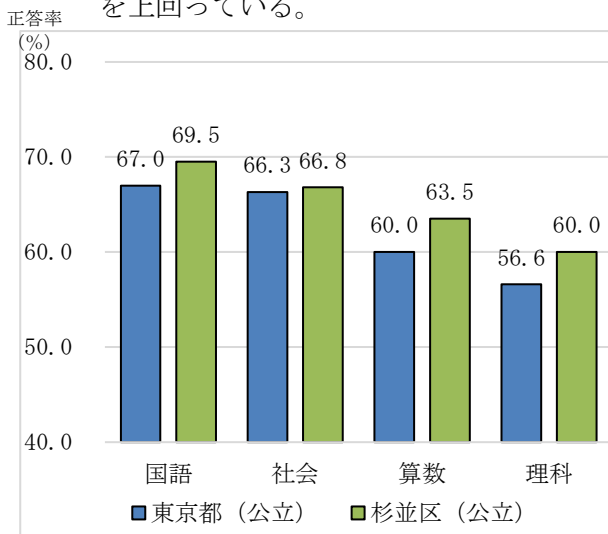
中学校第 3 学年

(都、区は小数第一位を四捨五入した値)

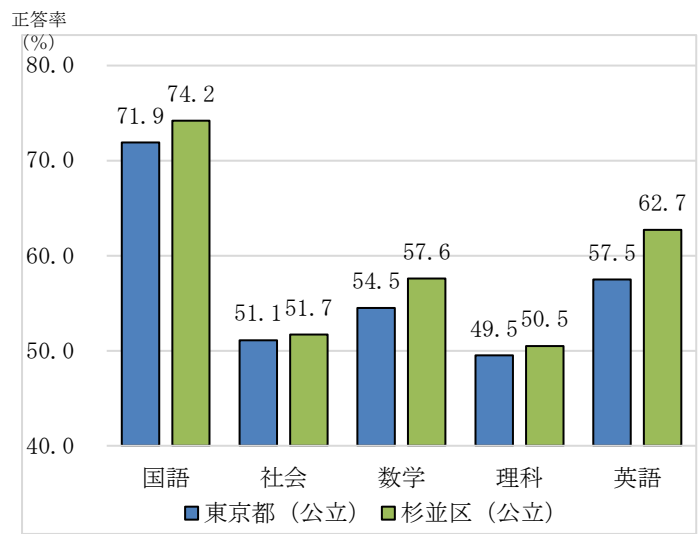
### 3 児童・生徒の学力向上を図るための調査（東京都教育委員会）

#### ◆調査結果の概要

- ・平均正答率(%)について東京都(公立)と比較すると、杉並区(公立)は、全教科で東京都(公立)を上回っている。



小学校第5学年



中学校第2学年

### 4 取組の成果及び今後の課題

#### (1) 取組の成果

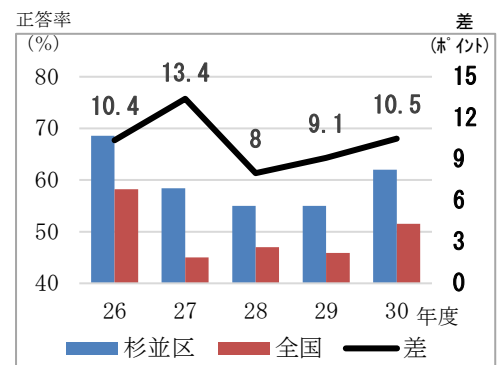
##### 例1) 小学校算数科

全国学力・学習状況調査における過去5年分の結果において、活用に関する問題(※)において杉並区の平均正答率は全国よりも8~13ポイント程度高い状況を維持している。

<考えられる要因>

- ・杉並独自の算数教材を作成し、活用を促してきた。
- ・問題解決的な学習に関わる研究や授業実践の積み重ねにより杉並区全体の算数の授業改善が図られてきた。

※昨年度まで「知識に関する問題」と「活用に関する問題」に分けた調査であったが、今年度から一体的な調査問題に変更となり、今年度の「活用に関する問題」データはない。

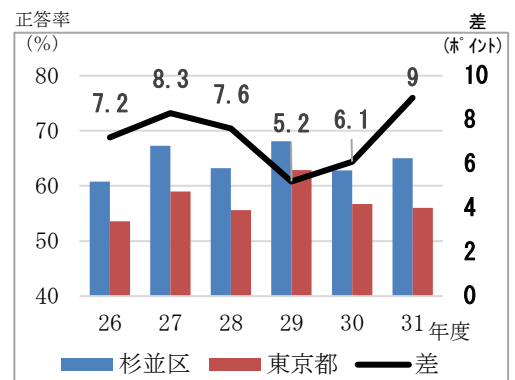


##### 例2) 中学校英語科

児童・生徒の学力向上を図るための調査における過去5年分の結果において、杉並区の平均正答率は東京都よりも5~9ポイント程度高い状況を維持している。

<考えられる要因>

- ・いち早く区内全小学校の全学年で外国語活動を教育課程に位置付け、学習意欲の向上を目指してきた。
- ・適切な小中一貫教育により、中学校において小学校での成果を踏まえた学習を積み重ねてきた。



#### (2) 今後の課題

課題は、新学習指導要領に示されたこれからの時代に求められる資質・能力の育成に向け、小学校段階から問題解決的な学習への改善を一層推進し、児童・生徒の学力を向上させることである。